

透析療法を受けているご本人・ご家族の皆さまにお願い

一般社団法人日本透析医学会は、透析医療機関を通じて透析療法の現状をまとめた統計資料を作成しています。この資料は、皆さまの透析治療の質を高めるために作成されるガイドラインや、透析医療にかかわる適切な保険診療設定、施設内での診療、教育にも利用されています。資料の一部は、「わが国の慢性透析療法の現況」としてまとめられ、日本透析医学会ホームページでも公開しております。このように本学会の統計資料は、医学的側面だけでなく社会的側面からもわが国の透析医療の質の向上に大きく寄与しています。この統計資料では、透析療法を受けている皆さまの性別、年齢、導入年月、原疾患、県名等が登録され、毎年一回、12月31日時点での治療方法や転帰、検査データが調査されています。調査は国の倫理指針に則り、患者氏名や生月、生日は暗号化処理された患者識別コードに転換され実施されます。集められたデータから皆様の個人情報を実現することは不可能ですのでご安心下さい。本統計調査はわが国で透析治療を受けるすべての患者さんを対象に行われますが、調査内容やご自身の参加等につきまして疑問をお持ちの際は、当該施設担当者あるいは、下記学会担当者までご照会くださいますようお願いいたします。本統計調査に不参加の場合でも、皆さんが何ら不利益を被ることはありません。日本透析医学会は、透析医療の質を向上させるために引き続き努力を続けてまいりますので、今回の調査につきましてご理解下さいますようお願い申し上げます。

一般社団法人日本透析医学会
理事長 中元秀友
統計調査委員長 新田孝作
甲南医療センター 腎臓内科
部長 藤森 明